



令和3年度とわだ子ども議会



小山国久市長と丸井英子教育長が答弁し、北館康宏副市長と各部長が質疑に耳を傾けました

子ども議員12人が考えるまちづくり「とわだ子ども議会」

8月6日、市役所の市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。

この「子ども議会」は、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っています。

本年度は市内の小学6年生24人の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から定員を削減し、抽選で12人が子ども議員として選ばれました。

今回の子ども議会では、議長の前田龍くん（北園小）

と副議長の坂田柊くん（三本木小）が議事進行を務め、子ども議員たちが市政に対する質問を行いました。

また、事前に行われた勉強会で子ども議員と一緒に学んだ仲間が、傍聴席に応援に駆け付けました。

通常の議会では、質問者に対して拍手や応援はできませんが、子ども議会では特別ルールが設けられ、市民の安全、教育の推進、人との交流、産業の発展など幅広い分野におよぶ素晴らしい質問や提案を堂々と発表する姿に、傍聴席からは拍手が送られました。

今号では、応援隊の子どもの感想もご紹介します。

子ども議員が、地域のため、子どもたちのため、これからの十和田市のために考えたことは…



楽しく、安全で美しいまち
質問) 見通しの良い道路の整備計画を作ってはどうか。カーブミラーを設置することにより、安全・安心に歩けるようにお願いしたい。
答弁) 町内会や学校からの要望により必要性の高い所から順番にカーブミラーを設置している。これからは安全・安心なまちづくりを目指し、道路整備を行っていききたい。



笑顔あふれる十和田市
質問) 違う小・中学校の人同士で交流できる授業を取り入れはどうか。
答弁) 小・中学校のインターネット環境が整ったので、オンラインでの交流学习が実現可能になった。また、市や学校の交流事業もあるので、クラスメイトと声を掛け合い色々な交流活動に参加してほしい。



安全で快適な住みやすいまち
質問) 市からのあらゆる情報を市民が早く共有するために、スマートフォンやタブレット用の「十和田市総合アプリ」を作ってはどうか。
答弁) 4月から、市のホームページに携帯端末でも見やすいシステムを導入し改善した。引き続き、より効果的な情報発信を進めながら公式アプリの情報収集も行っていきたい。



市の魅力がみんなに伝わるまち
質問) 市や、市民で協力して、市の魅力を紹介する動画を作り、YouTubeに投稿してはどうか。
答弁) 市出身のタレント「りんごちゃん」に観光大使をお願いして、市の観光スポットや特産品を紹介する動画を公開している。市民の皆さんや観光客など色々な人に十和田の魅力を発信してほしい。



農業がもっと身近に感じるまち
質問) スマート農業で、若い人が農業に取り組むやすくなる支援をしてはどうか。
答弁) 若い農業従事者がどのような場面でスマート農業を必要としているのか、皆さんの意見を参考にし、十和田市や全国のたくさんの人に興味を持ってもらえるような魅力あるスマート農業を目指し、支援したい。



市民全員が健康で、楽しく暮らすことのできるまち
質問) 各学区に健康遊具のある公園を造り、地域のコミュニケーションの場を設けてはどうか。
答弁) 18種類の健康遊具を設置している高森山総合運動公園や市街地に整備したウォーキングコースを活用し、日常生活に運動を取り入れ、地域のコミュニケーションを図りながら健康づくりに取り組みたい。



子どもたちが夢に向かって笑顔で輝かせるまち
質問) 小学校で職場見学の学習だけでなく、職業体験の学習も取り入れてはどうか。
答弁) 中学生になると数日間の職場体験がある。現在新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しているが、地域のことを調べたり社会見学をする中でさまざまな仕事に興味を持ち、職場体験のチャンスに向けて準備してほしい。



みんなが楽しく笑顔で暮らせるまち
質問) 子どもたちが自由に集まり学べる施設を造るのはいかがでしょうか。そこで、北里大のしっぽの会のお手伝いをしたい。
答弁) 市民交流プラザや市民図書館、コミュニティセンターなどの施設でさまざまな活動を通して世代間交流を行っている。動物飼育の施設はないが、関係団体と相談しながら考えていきたい。



人々が安全に楽しく暮らせるまち
質問) 十和田クリーンデーを定め、みんなで一斉にごみ拾いをしてはどうか。
答弁) 町内会や市民団体、企業などが自主的にごみ拾いボランティアに取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったものもあるが、これらを通して多くの人に、きれいなまちづくりについて考えていただきたい。



みんな元気で、健康に生活できるまち
質問) 公園に大人も利用できる健康遊具を設置してはどうか。
答弁) 高森山総合運動公園に18種類の健康遊具を設置しているほか、官庁街通り、稲生川沿い、陸上競技場のウォーキングコースを整備した。また屋内グラウンド「こまかいどーむ」などで気軽に運動できる健康講座を企画している。



たくさんの自然に囲まれて、だれもが安心して暮らせるまち
質問) 自然災害の種別ごとに地域防災マップを作成し、各家庭に配布したり、避難所の掲示板などに貼ってはどうか。
答弁) 奥入瀬川の洪水を想定した「防災ハザードマップ」、八甲田山噴火を想定した「八甲田山火山防災マップ」を作成し、配布した。これらを用いて災害に備えていただきたい。



子どもたちが協力し合い、より良い学校をつくっていくまち
質問) 「子どもサミット」を開催してはどうか。
答弁) 現状では各校の代表が一堂に集まることは難しいが、オンラインでの情報交換を試みてはどうか。また、子ども会初級リーダー研修や寺子屋稲生塾などに参加して積極的に情報交換し、より良い学校づくりに生かしてほしい。

①～③：三本木小 ④：南小 ⑤：東小 ⑥、⑦：西小 ⑧ちとせ小 ⑨法奥小 ⑩～⑫：北園小



▲ 子ども議会終了後、小山田市長、北館副市長、丸井教育長と当選証書を手に記念撮影

子ども議会の傍聴席から…

子ども議会の勉強会で一緒に学んだ仲間の発表を、真剣なまなざしで見つめ応援の拍手を送った傍聴席の子どもたちから感想を聞きました。



水尻あかりさん (高清水小)

外国とのオンライン交流を行った小学校もあることなど、十和田市についてまだまだ知らないことがあったので、地域の人たちと交流を深めて詳しくなれるように頑張りたいと感じました。



苫米地颯悟くん (三本木小)

子ども議員の皆さんが、安全や安心について考えていたことや、子どもでも高齢者でも参加できることを考えていたので、思いやりのある良い案を発表しているなと思いました。



市澤承真くん (沢田小)

代表者として発表することはできませんでしたが、しっかり傍聴できました。発表者は、大きな声で分かりやすく話し、市長や教育長の答弁をよく聞いていて素晴らしいなと思いました。



岡田文結子さん (北園小)

子ども議会を傍聴して、まちづくりについて考えることができました。今回の提案が導入されて、もっと住みやすい安全・安心な十和田市になればいいと思いました。